

平成26年5月

保護者様

公立保育所保健師看護師連絡会

傷の手当て方法について

新緑のまぶしい季節となりました。保護者の皆様におかれましてはお健やかに過ごしの
こととお喜び申し上げます。

さて、保育所保健師看護師連絡会では、会の一環として保育所の子どもたちの健康や安全
における検討をしており、この度、保育所での傷の手当て方法についてご紹介をさせてい
ただくことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

【傷治療のおはなし】

子どもたちは、からだを思いっきり動かして遊ぶのが大好き！元気いっぱい走って転ん
だり、よく手足をすりむいたりしてしまふことがありますね。そこで、保育所での傷の手当
て方法についてお知らせします。



..... 傷の手当て方法

- ① 水道水で泥や砂をよく洗い流します。
- ② 白色ワセリンを傷に塗ります。
(しみたりはしません)
- ③ よく使う場所に傷がある時は、ばんそう
こうなどで覆うこともあります。



.....
おうちの救急箱によくある消毒薬(マキロン、アクリノール、イソジン、オキシドール等)
は使用しておりません。消毒するとかえって治るのが遅くなり、あとが残ってしまいます。
きれいに傷を洗い流せば、ばい菌はいなくなりますから心配はいりません。

消毒すると、痛い上にしみます。この「しみる」ということは、傷を広げているようなも
のなのです。傷はできた瞬間から自分で治そうと働き、そのために傷口がジクジクしてきま
すが、この黄色いシルミみたいなものには、実は治す成分がいっぱい含まれているのです。

傷の様子によって消毒を使用することもあります。自然治癒力を高めてあげるだけでい
いので抗生剤などは使いません。また、状況によっては病院へ行って治療を受けることもあ
ります。